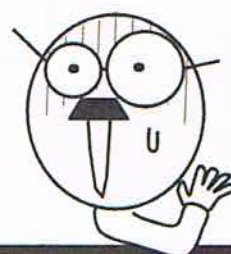


VICRI



Web版

Visualized Information of Chemical Risks

化学物質の危険性情報が簡易に取得できるサイトの作成を目指しています。載せる情報量を絞り込むことで情報の羅列と閲覧者の飽きを防ぐこと、危険性を簡易に表現し、定量的に確認できるような可視化した図を作成すること、通常の情報サイトでは収集しにくい事故情報や具体的な管理指針を載せること、に着眼した新規情報サイト作成を行っています。

化学物質の危険有害性を簡単に分かりやすく



化学物質の危険有害性をレーダーチャートで定量評価

危険有害性を可視的に且つ定量的に把握できる図表示を行いました。

- ・人体への有害性指標として: 「急性毒性」、「慢性毒性」、「刺激性」
- ・環境中への毒性指標として: 「環境毒」
- ・物理的な反応危険性として: 「反応性」
- ・曝露のしやすさの指標として: 「揮発性」

定量指標はGHSの表示区分を参考



化学物質が原因で起こった事故、ヒヤリハットを表示

情報量の多い事故情報も化学物質単位での表示が行えれば、情報の選定が極めて容易になることが期待できます。情報は労働災害レベルの大規模事故の情報に加えて、学内で起きている初歩的な事故、ヒヤリハットも活用しています。これは、被害の大きなものだけでなく、「保護めがねの未着用のために目に刺激薬品が入った」、などの初歩的なものも載せることで日常的に取り扱う際の注意を喚起するためです。



必要な管理方法(保管、使用管理)を簡易的に表示



実際の取り扱いにおいて、予防対策や、保管や使用、届出報告などに際して、具体的な管理方法を載せます。情報はMSDSでの情報と、実際の法令情報を元にしています。